



# 事業計画及び成長可能性 に関する事項

株式会社アドバンスト・メディア

2024年6月28日



Advanced Media, Inc.

# 会社概要



設立	1997年12月10日
資本金	69億3,031万円
発行株式数	18,392,724株
上場市場	東京証券取引所グロース市場（3773）
所在地	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本社 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42F</li><li>■ 大阪支社 大阪府大阪市西区立売堀1-3-11 ダイタイムビル5階</li><li>■ 札幌営業所 北海道札幌市中央区大通西15-1-11 北日ビル第2大通 4階405号</li><li>■ 名古屋営業所 愛知県名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル302</li><li>■ 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅南4-2-10 南近代ビル5 F</li></ul>
代表	代表取締役会長兼社長 鈴木清幸
従業員数	社員数 単体：224名（平均年齢37.5歳） 連結：253名



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

## “HCIの実現”

H=Human

C=Communication

I=Integration

アドバンスト・メディアは、  
「キカイ」との自然なコミュニケーションを  
実現し、豊かな未来を創造します。

# AmiVoice BRAND MESSAGE

## BRAND MESSAGE

# 音声認識で  
つくりたい  
未来へ

もしも、人とキカイが  
自然な会話でつながる未来を  
実現できるなら。

AI音声認識 国内シェアNo.1の  
「AmiVoice®」があれば、  
そんな楽しい世界だって、  
きっと夢ではありません。

音声認識の力で、  
ワクワクできる未来をあたりまえに。  
私たちは、アドバンスト・メディアです。

AI音声認識 国内シェアNo.1\*

**AmiVoice®**



# 1. ビジネスモデル



Advanced Media, Inc.

# 事業の内容

当社グループ（当社および当社の関係会社）は、当社（株式会社アドバンスト・メディア）と連結子会社3社により構成されており、事業セグメントは、音声事業の単一セグメントであります。

## 音声事業

当社グループは、AI音声認識**AmiVoice**®を核とした下記の事業を展開しております。

- I. サービス事業 企業及び企業内のユーザーや一般消費者へAI音声認識アミボイスをサービス利用の形で提供する事業
- II. プロダクト事業 AI音声認識アミボイスを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する事業
- III. ソリューション事業 AI音声認識アミボイスを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う事業

なお、音声事業の単一セグメントは、**既存コアビジネスをBSR1（第一の成長エンジン）**、新規ビジネスの創生、M&A、海外事業を**BSR2（第二の成長エンジン）**と定義し、8のプロフィットユニットで構成されております。

## 第一の成長エンジン（既存コアビジネス）

当社のCTI事業部、VoXT事業部、医療事業部、SDX事業部の4つのプロフィットユニットで構成をしております。

## 第二の成長エンジン（新規ビジネスの創生、M&A、海外事業）

当社の海外事業部、BDC本部（含む株式会社アミサポ）、および連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）、株式会社速記センターつくばの4つのプロフィットユニットで構成をしております。

# 製品・サービス内容①

	主な製品・サービス	主な顧客	サービス内容
B S R 1	<b>CTI事業部</b> AmiVoice Communication Suite AmiVoice CQM Assist AmiVoice ISR Studio AmiVoice TextStream	コンタクトセンター	通話の全文リアルタイムテキスト化、管理者による複数通話同時モニタリング、感情解析などで応対品質向上を支援
	<b>VoXT事業部</b> AmiVoice ScribeAssist ProVoXT/ProVoXT for LGWAN CyberScribe	地方自治体、 各種民間企業	会議や講演の音声を自動テキスト化し、自治体・民間企業のRPA化を促進する音声認識文字起こしサービスを提供
	<b>医療事業部</b> AmiVoice Ex7 AmiVoice iNote/iNote Lite AmiVoice CLx	病院、診療所、 放射線科、調剤薬局	電子カルテや読影レポートなど、各種医療文書の作成を音声認識で効率化し、医療現場の働き方改革に貢献
	<b>SDX事業部</b> AmiVoice Cloud Platform AmiVoice Keyboard AmiVoice SF-CMS AmiVoice RolePlay AmiVoice VK/VM AmiVoice UPV	製造・物流・金融・製 薬等、各種民間企業	音声認識機能をWebサイトやアプリケーションに実装するためのAPI開発ツール

# 製品・サービス内容②

		主な製品・サービス	主な顧客	サービス内容
BSR 2	海外事業部	台湾、中国向け AmiVoice Cloud Platform	アジア圏の企業	台湾・香港・中国企業向け、音声認識APIの提供
	BDC本部	AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム	建設・不動産業	建設現場における検査結果をはじめ、建築工程管理を支援する音声認識ソリューションを提供
	AMIVOICE THAI	タイ語版 AmiVoice Communication Suite	タイ現地の コンタクトセンター	自社開発のタイ語音声認識エンジンを活かした音声認識IVRや、コンタクトセンター向けソリューションをタイ全土に提供
	連結子会社 速記センターつくば	書き起こし・議事録作成業務	地方自治体、裁判所	自治体を中心に会議議事録作成を受託し、音声の書き起こし業務を提供
	アミサポ	建物品質検査サービス AmiVoice スーパースクライバー	建設・不動産業	AI音声認識を活用したアプリケーションを使いこなし「仕上げ検査」や「配筋検査」、議事録作成代行業務等を請け負う人材を提供

# 主要な製品・サービスの紹介①

## AmiVoice® Communication Suite (CTI事業部)



### コンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション

豊富な機能でコールセンター業務を強力にサポートし、応対品質向上・顧客満足度向上・業務効率化・売上向上など、コンタクトセンターの課題を解決します。各業界に特化した高精度な音声認識エンジンをベースに企業それぞれのニーズに合わせて柔軟にカスタマイズすることも可能です。



## AmiVoice® ScribeAssist (VoXT事業部)



### AI音声認識 文字起こし支援アプリケーション

Web会議や商談、会見等、対面・非対面の幅広いシーンで利用できるスタンドアロン型文字起こし支援アプリケーションです。会議をしながら文字化・記録するリアルタイム認識と、録音データを文字化するバッチ認識、どちらにも対応しています。Zoomと連携して認識結果を字幕表示することも可能です。



## AmiVoice® Ex7 (医療事業部)



### 話したら、即、入力。医療現場の記録をスピード作成

AmiVoice Ex7はマイクで話すだけで文章が作成できるソフトウェアです。医療の現場で必要とされる電子カルテへの入力、服薬指導や読影レポートの作成から診療情報提供書の準備まで、PCで行う様々な文章入力の負担を軽減します。



# 主要な製品・サービスの紹介②

## AmiVoice<sup>®</sup> スーパーインスペクションプラットフォーム (BDC本部)



### 建築検査用の音声入力アプリ。AIが業者を自動振分け！

建築仕上げ検査、配筋検査、安全パトロール、内覧会用などの音声入力アプリ。指摘事項を発話して検査結果入力完了。AIが協力会社を自動振り分けし仕分け作業不要です。すでに100社以上でご利用いただいています。

## AmiVoice<sup>®</sup> Cloud Platform (SDX事業部)

### 音声認識API・SDK を提供する開発プラットフォーム

AmiVoice 音声認識API・SDKの活用により、クライアントアプリケーションに特別なライブラリを組み込む事なく、音声認識機能を実装できます。音声文字化や音声対話、音声制御、音声翻訳等、アプリケーション、Webサイト等の各種サービスにご使用いただけます。

開発者向け

シェアNo.1の音声認識エンジンを  
API・SDKで提供する

AmiVoice<sup>®</sup> Cloud Platform



AmiVoice API

AmiVoice SDK

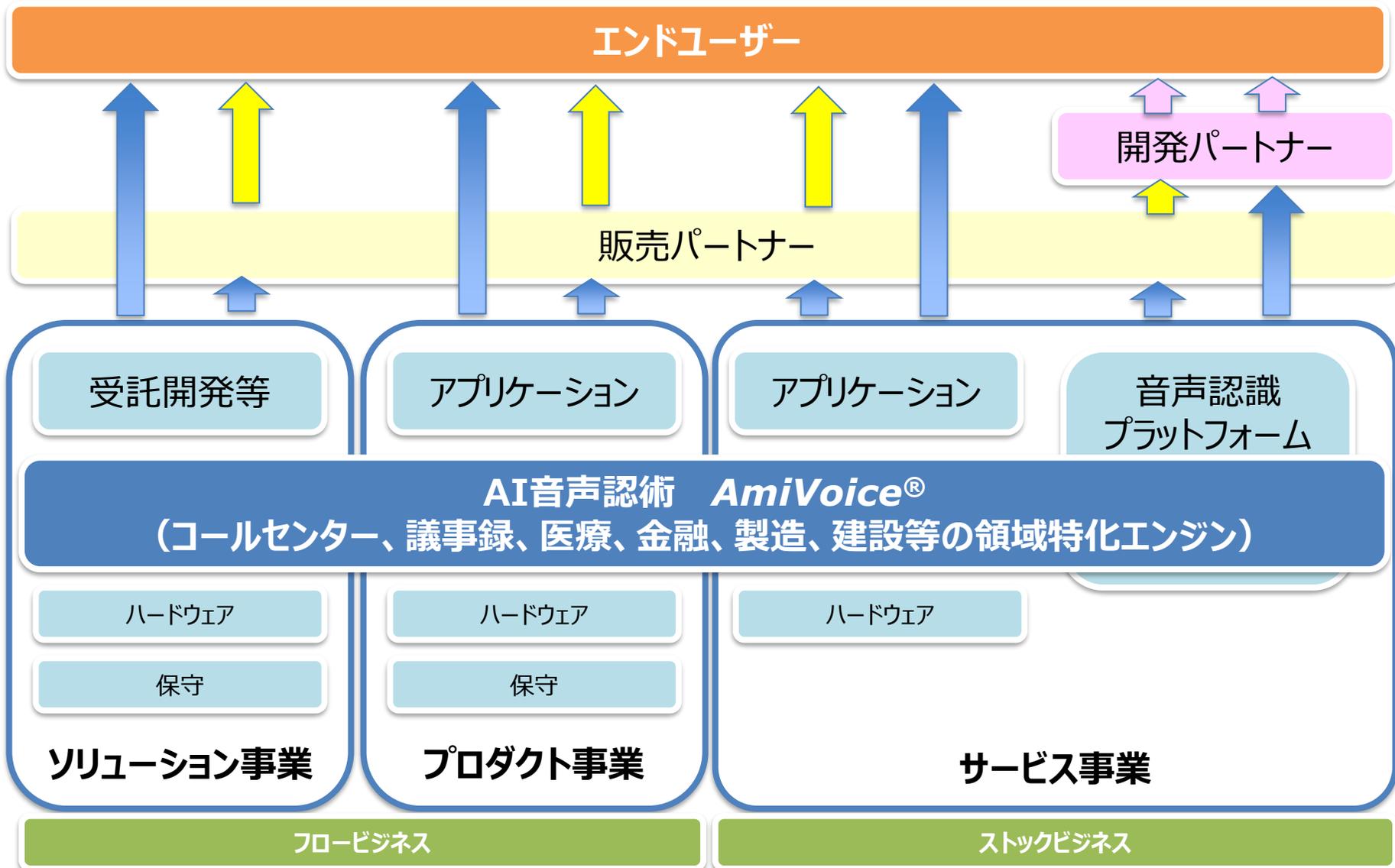
### AmiVoice<sup>®</sup> Front WT01 (Bluetoothマイク)



### AmiVoice<sup>®</sup> Front ST01 (スタンドマイク)



# ビジネスモデル



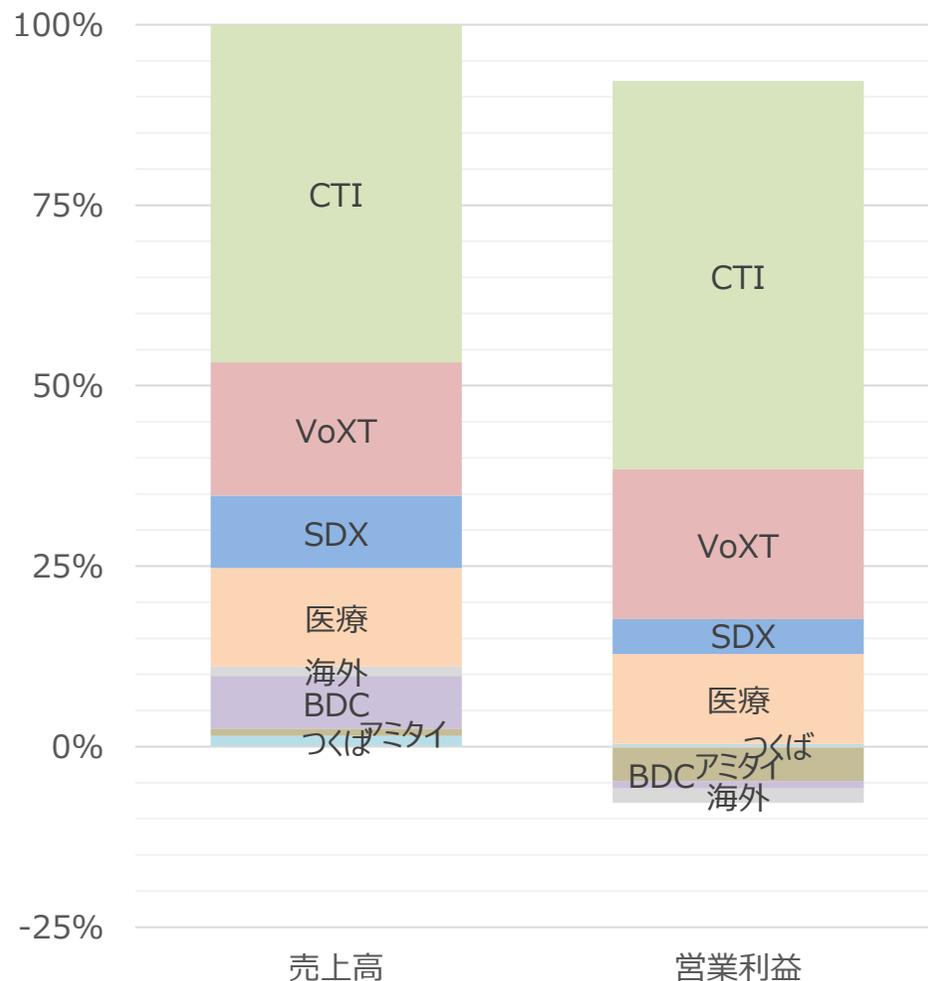
# 分野別の実績（2024年3月期）

## 売上高

単位：百万円

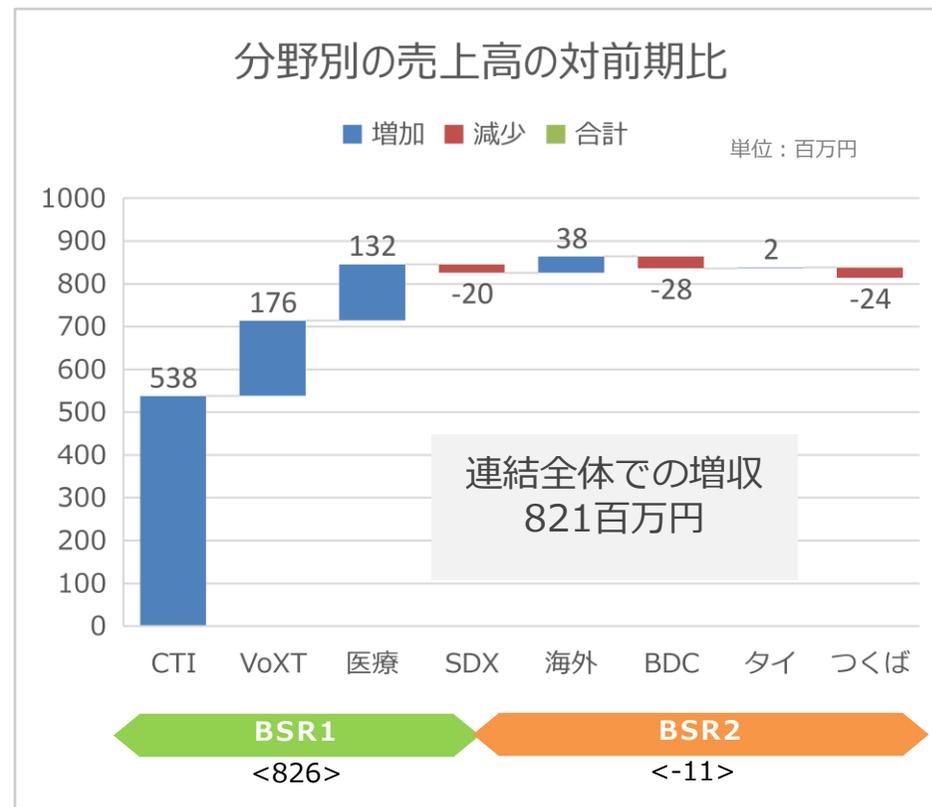
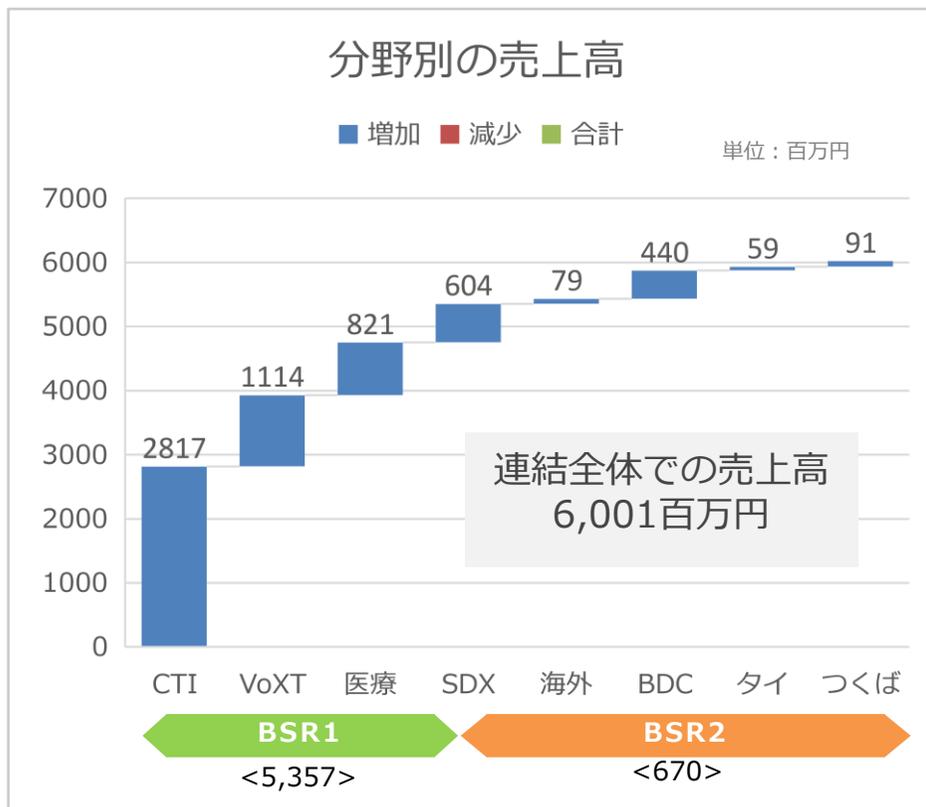
		2024年3月期	
BSR1	CTI事業部	2,817	47.0%
	VoXT事業部	1,114	18.6%
	医療事業部	821	13.7%
	SDX事業部	604	10.1%
	合計	5,357	89.3%
BSR2	海外事業部	79	1.3%
	ビジネス開発センター	440	7.3%
	連結子会社 AMIVOICE THAI	59	1.0%
	速記センターつくば	91	1.5%
	合計	670	11.2%
連結調整		-28	-0.5%
合計		6,001	100.0%

## 構成比



# 2024年3月期売上高の分析

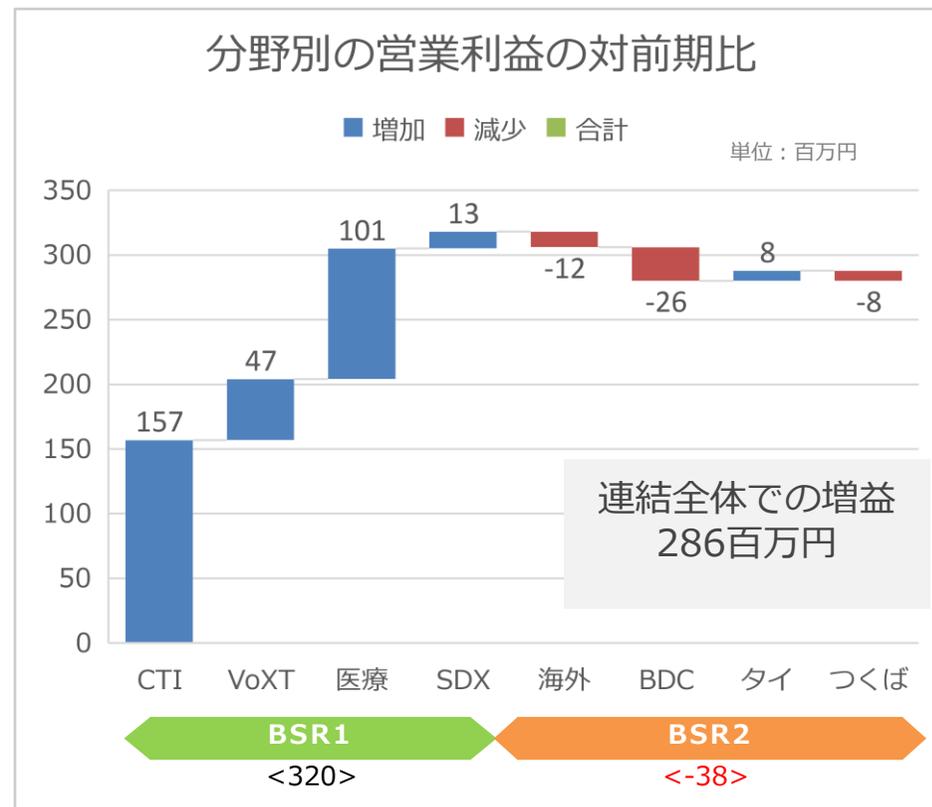
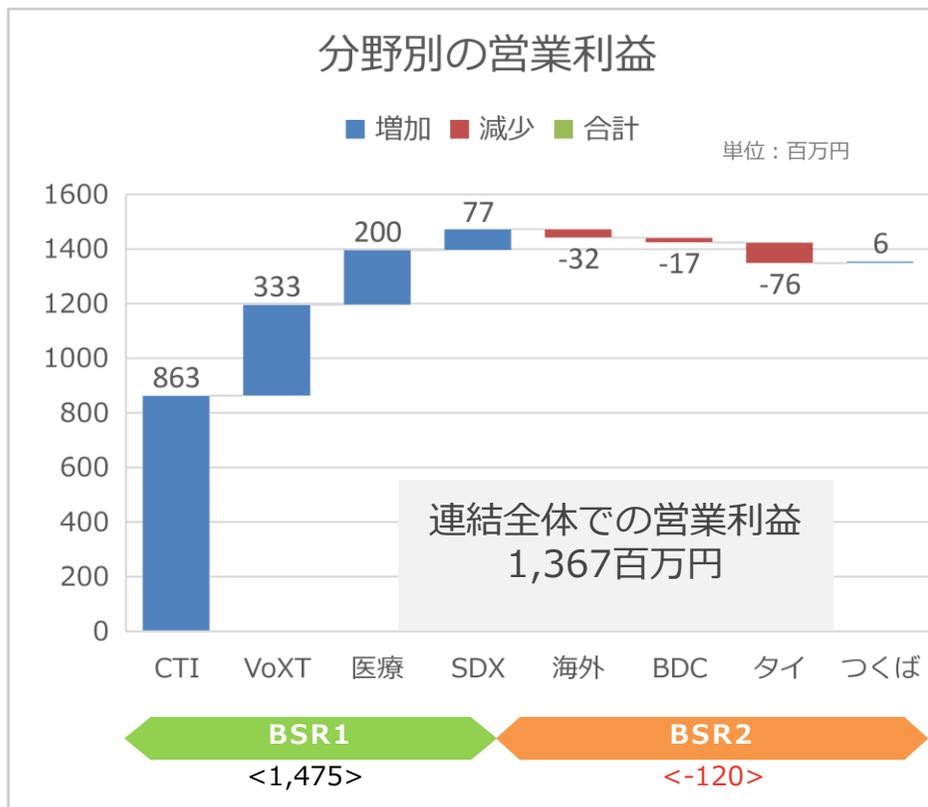
注) 連結調整前



**BSR1 (第一の成長エンジン) CTI事業部、VoXT事業部、医療事業部が増収し前期比18.2%増収**  
**BSR2 (第二の成長エンジン) 前期比1.7%減収**  
**当社グループ全体では、前期比15.9%の増収で過去最高の売上高**

# 2024年3月期営業利益の分析

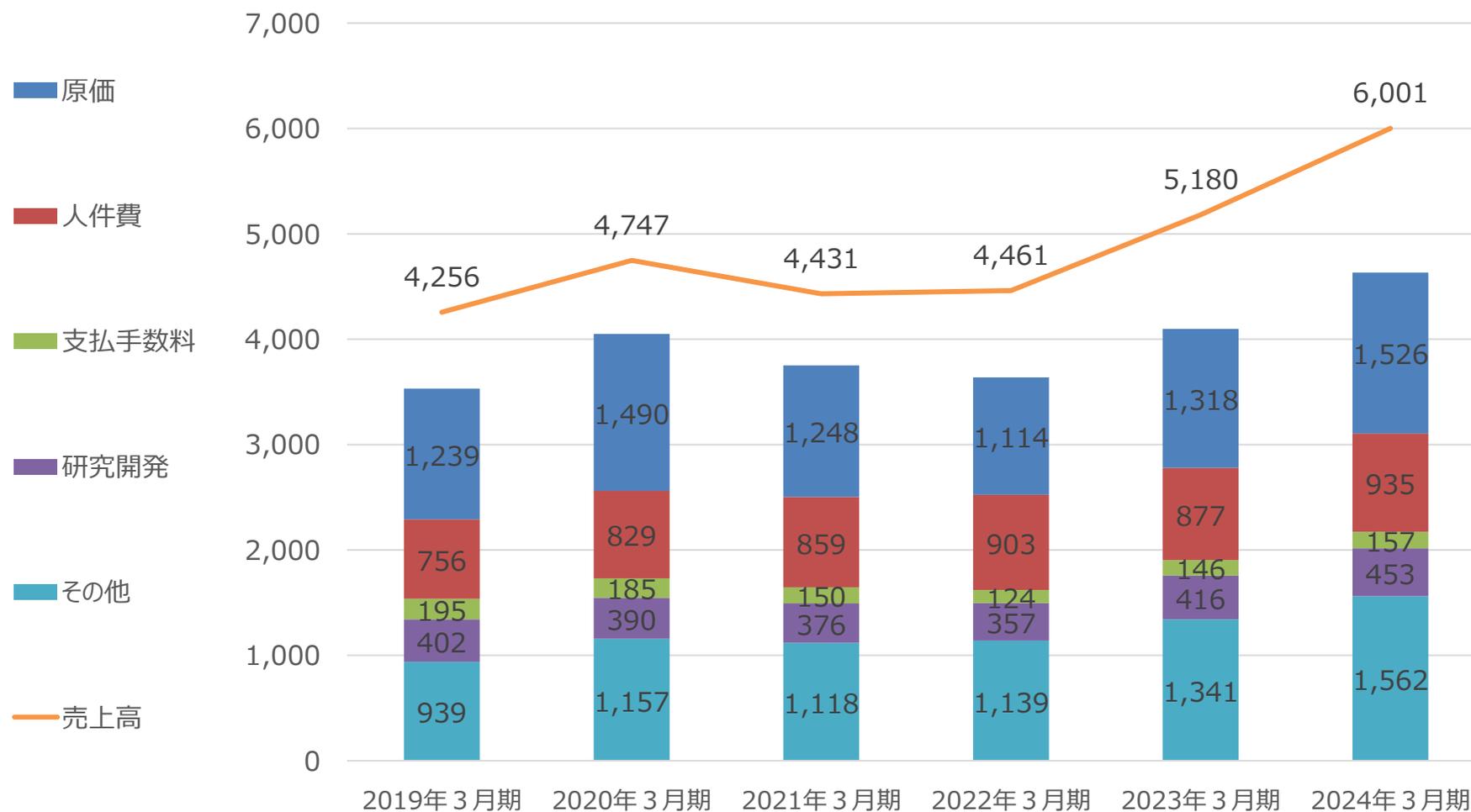
注) 連結調整前



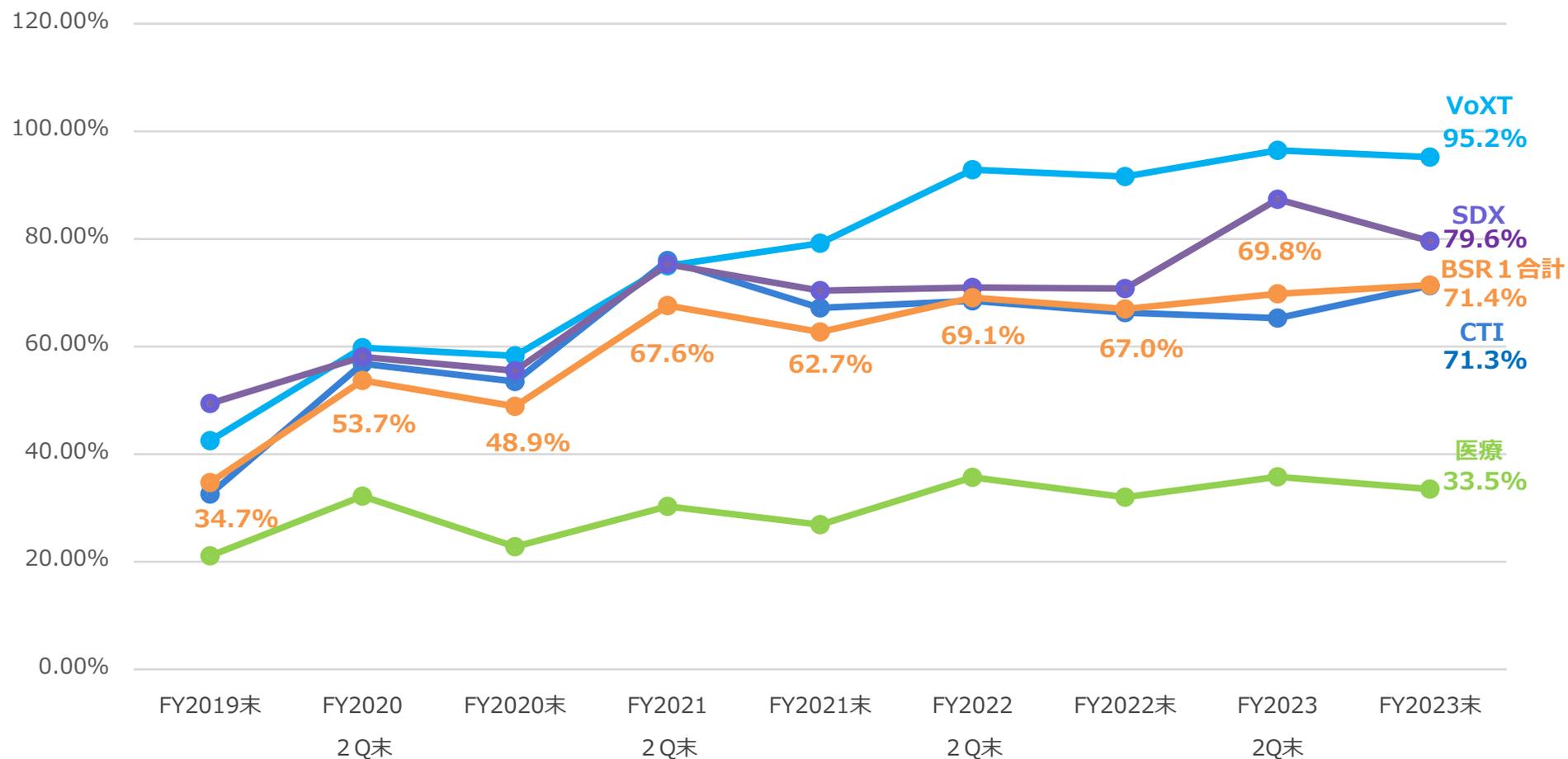
**BSR1 (第一の成長エンジン) CTI事業部、VoXT事業部、医療事業部が増益し前期比27.7%増益**  
**BSR2 (第二の成長エンジン) 赤字幅が増大**  
**当社グループ全体では、前期比26.6%の増益で過去最高の営業利益**

# コスト構造

単位：百万円



# ストック比率の推移 (BSR 1)





## 2.市場環境



Advanced Media, Inc.

## 音声認識市場

2022年度から2027年度の**CAGRは12.2%**

### 市場別

オンプレミス市場の**CAGR4.6%**

クラウドサービス市場の**CAGR40.3%**

**クラウドサービス市場の採用が広がる**

出典:合同会社ecarlate「音声認識市場動向 2024」

# 分野別の概況

## コンタクトセンター（CTI事業部）

**(参考) 当社CAGR 15.5%**  
**(FY2021～FY2023)**

- 人手不足、生産性向上、コンプライアンス、などから需要は引き続き旺盛と考えている
- AI対話、ボイスボットなど新しい需要が見込まれる

## 議事録（VoXT事業部）

**(参考) 当社CAGR 19.6%**  
**(FY2021～FY2023)**

- 生産性向上から会議の文字化需要は引き続き旺盛と考えている
- 生成AIとの連携により、新しい需要が見込まれる

## 医療業界（医療事業部）

**(参考) 当社CAGR 5.0%**  
**(FY2021～FY2023)**

- 病院でのDX化の加速から需要が高まると見込まれている
- 2024年度から医師の残業時間の上限規制があり、需要が加速するものと考えている

## 建設業界（BDC本部）

**(参考) 当社CAGR 9.4%**  
**(FY2021～FY2023)**

- 人手不足、生産性向上などの背景から、建設DXの需要が旺盛
- 2024年度からの残業時間の上限規制があり、需要が加速するものと考えている

CAGR : 当社実績

# 音声認識市場開拓のこれまで

※2024年3月現在

## 519社 (74,314ライセンス)

- 次世代コールセンターソリューション
  - ・オペレーター能力の向上
  - ・リアルタイムモニタリング
  - ・通話録音の検索と見える化
- 音声AIアシストサービス

## 3,804ユーザー

- AmiVoice Cloud Platform
- 音声認識開発キット (SDK)

## 自治体・民間 累計2,272施設

- 文字起こし、議事録作成ツール
  - ・議会、一般会議、WEB会議
  - ・会見、講義、講演、インタビュー
- クラウド文字起こしサービス

## 1,004社

- 次世代セールスソリューション
  - ・営業能力の向上
  - ・接客・対面の見える化
- “声キーボード” “声マウス”
- 営業日報向け音声入力
- 音声AIアシストサービス

## 18,229施設 (52,251ライセンス)

- 放射線／病理画像レポート作成
- 電子カルテ向け音声入力
  - ・病院・診療所・歯科クリニック
- 調剤薬局向け薬歴作成
- 医療・介護従事者向け音声入力

## 503社 (55,530ライセンス)

- ボイス検査ソリューション
- 仕上げ検査・配筋検査・写真管理

## 6,089ライセンス

- ハンズフリー・アイズフリー音声操作
- ボイスピッキング
- 音声データ入力・記録
- 作業報告、点検向け音声入力



## 音声認識 No.1

※出典：ecarlate「音声認識市場動向 2024」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場



※出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2024」



# 3.競争力の源泉



Advanced Media, Inc.

# 競争優位性①

## AI音声認識 AmiVoice®



### 豊富な導入実績

2万件以上の利用実績に基づく、多様なビジネスシーンのデータを集積。豊富なソリューションをラインアップ。

### 高い認識率

常に最先端の技術を研究し、最新のディープラーニング技術を実装。業界随一の高い認識率を誇ります。

### 自然な話し言葉の認識を実現

発話スピードやイントネーションへ柔軟に対応。日常会話のような、自然で長い発話でも高い認識精度を実現します。

### 幅広い業種と専門用語に対応

幅広い業種の専門用語に対応する音声認識エンジン。個別カスタマイズも可能です。

# 競争優位性②

AI音声認識  
AmiVoice®

AI音声認識マーケットをリードしていく**市場創造力**

各業界に精通している**パートナーとの強固な連携**

AI音声認識に関する知見・経験が豊富な**販売力**

AI音声認識に特化した**アプリケーション開発力**

AIなどを用いて価値を増幅させる**応用技術開発力**

AI音声認識をアップデートし続ける**基礎技術開発力**

これらの競争優位性が音声認識市場でのトップシェアに繋がっている

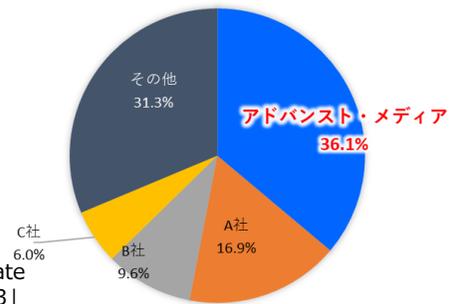


※出典：合同会社 ecarlate 「音声認識市場動向 2024」

音声認識クラウドサービス市場：  
メーカー別市場占有率



音声認識ソフトウェア市場：  
メーカー別市場占有率



※出典：合同会社 ecarlate  
「音声認識市場動向2023」  
2023年度見込み



# 4.事業計画



Advanced Media, Inc.

# 計画と実績の差異について①

## 1-1. 連結：FY2023の計画と実績の差異について

(単位：百万円)

	計画	実績	差異	主な要因
売上高	6,000	6,001	+1	・プラス要因：CTI事業部の大幅な超過 ・マイナス要因：SDX事業部、BDC本部、子会社のアミタイが予算未達
営業利益 営業利益率	1,200 20.0%	1,367 22.7%	+167 +2.7%	・CTI事業部の利益率の高い大型案件の獲得、医療事業部の収益改善 ・適切な販管費のコントロール

## 1-1. BSR1：FY2023の計画と実績の差異について

	計画	実績	差異	主な要因
売上高	5,150	5,357	+207	CTI事業部、医療事業部の超過
営業利益	1,200	1,475	+275	CTI事業部の利益率の高い大型案件の獲得、VoXT事業部、医療事業部の増収

## 1-3. BSR2：FY2023の計画と実績の差異について

	計画	実績	差異	主な要因
売上高	902	670	△232	BDC本部、子会社アミタイの予算未達
営業利益	黒字化	△120	△120	BDC本部の減益、子会社アミタイの赤字継続

# 計画と実績の差異について②

## 2-1. 中期計画の見直しについて

	前回計画	今回計画	差異	主な要因
達成時期	FY2025	FY2026	+ 1年	新型コロナウイルスによる経済低迷、働き方の大きな変化、生成AIなど新たな技術の急速な進展とビジネスへの浸透など、事業環境が大きく変化 現在の事業環境そのものは当社ビジネスに好環境との認識を持ちつつも、中長期的にビジネスの可能性を最大化すべく、各事業の実現すべき未来と取り組み課題、ビジネス展開の時間軸を再検討
売上高	10,000	10,000	±0	
営業利益	30億円	25億円	△5億円	優秀人材の確保や定着に向けた人的資本の強化、AI音声認識や生成AIに対する研究開発投資の強化、既存ビジネスの強化や新規ビジネスへの投資を進めるため

## 2-2. 中期計画の見直しについて

(単位：百万円)

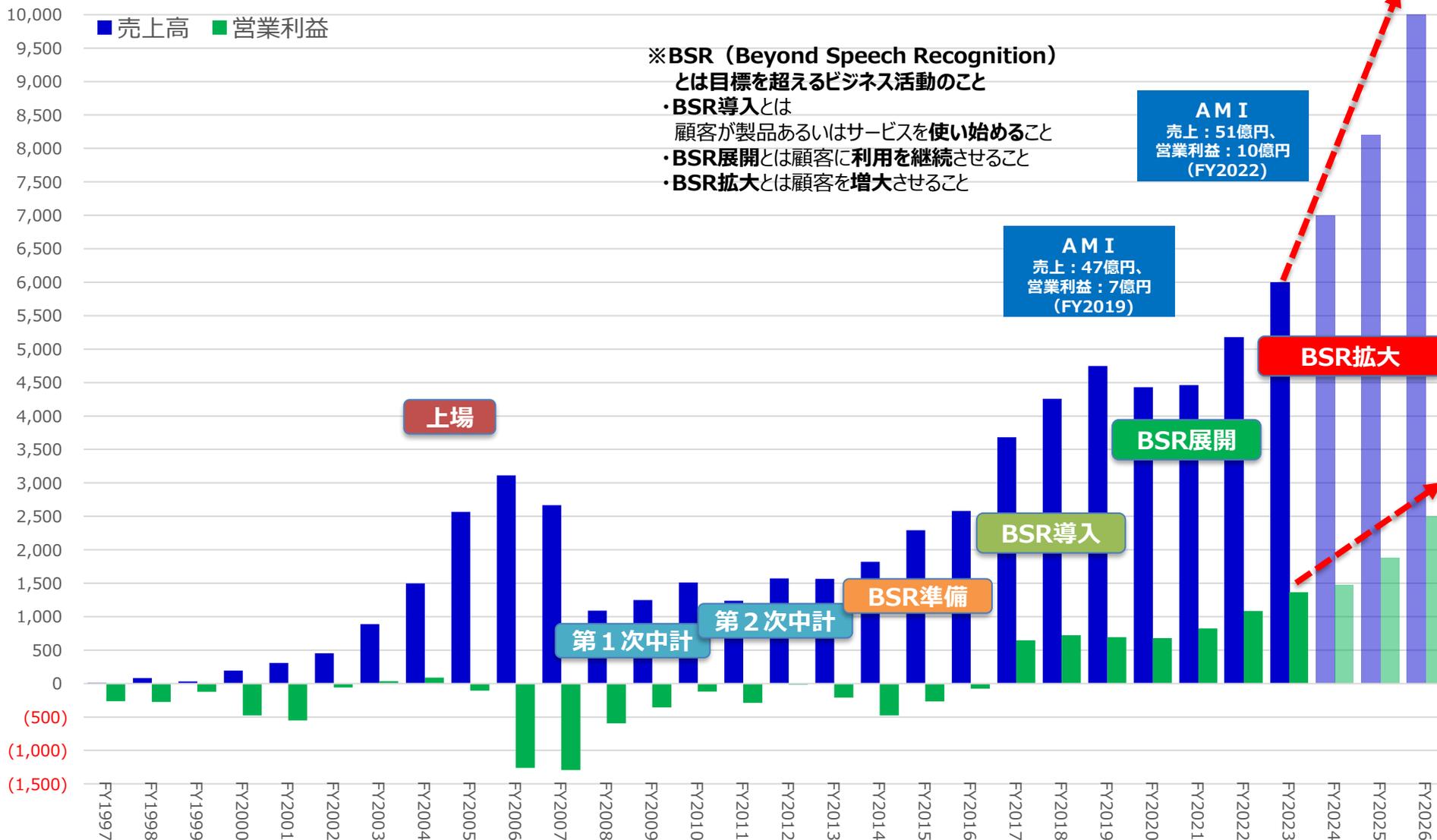
		前回計画	今回計画	差異	主な要因
BSR拡大期 FY2024	売上高	8,000	7,000	-1,000	SDX事業部、BDC本部、子会社など、事業計画の遅延 新規ビジネス・M&A施策の遅延
	営業利益	2,200	1,470	-730	上記のとおり
BSR拡大期 FY2025	売上高	10,000	8,200	-1,800	SDX事業部、BDC本部、子会社など、事業計画の遅延 新規ビジネス・M&A施策の遅延
	営業利益	3,000	1,880	-1,120	上記のとおり
BSR拡大期 FY2026	売上高	-	10,000	-	売上高100億円の達成をFY2025からFY2026に変更
	営業利益	-	2,500	-	上記のとおり

※ 前回計画：2023年6月30日開示「事業計画及び成長可能性に関する事項」

# AMIグループの業績推移とこれから

AMI  
売上：100億円、  
営業利益：25億円  
(FY2026)

(単位：百万円)



# 今後の見通し（中期計画）

新たな日常を創る ～仕事にアミボイスを使うことがアタリマエ～

## BSR拡大期

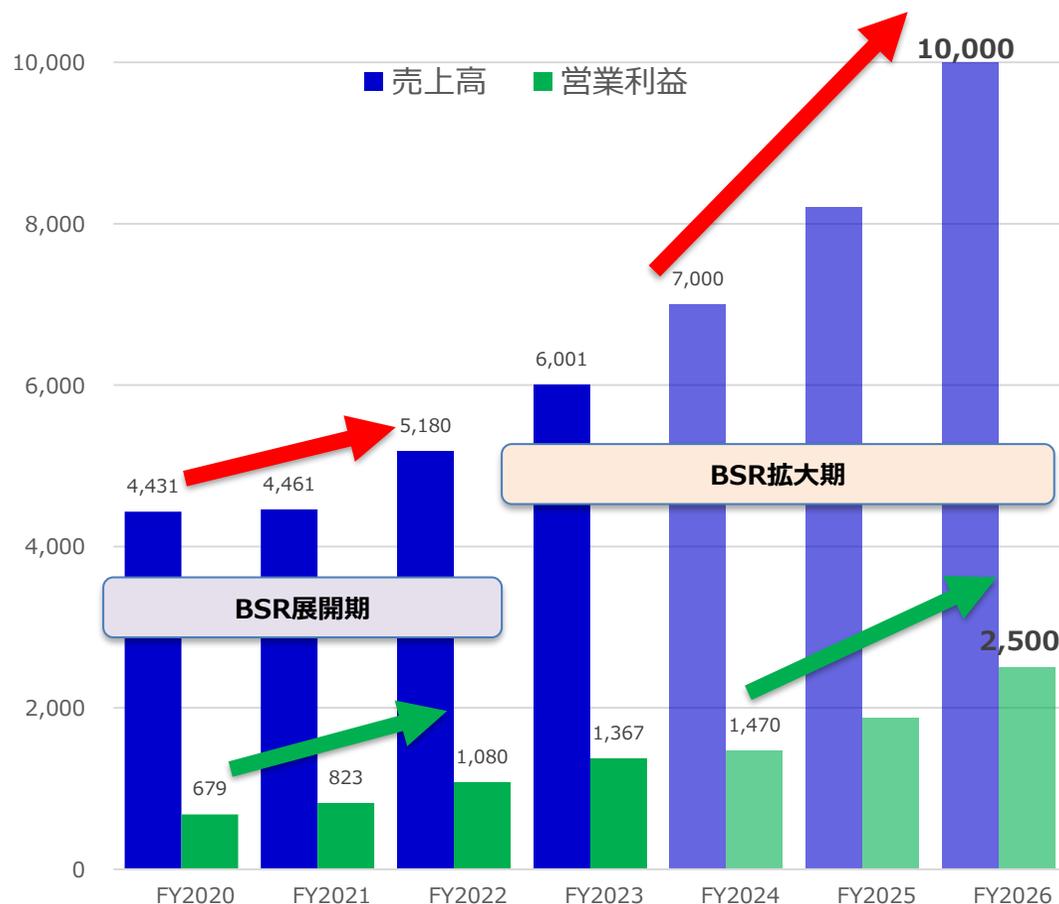
### 「AmiVoice Next」

（2024年3月期から2027年3月期）

2027年3月期の目標値

売上高：100億円  
営業利益：25億円

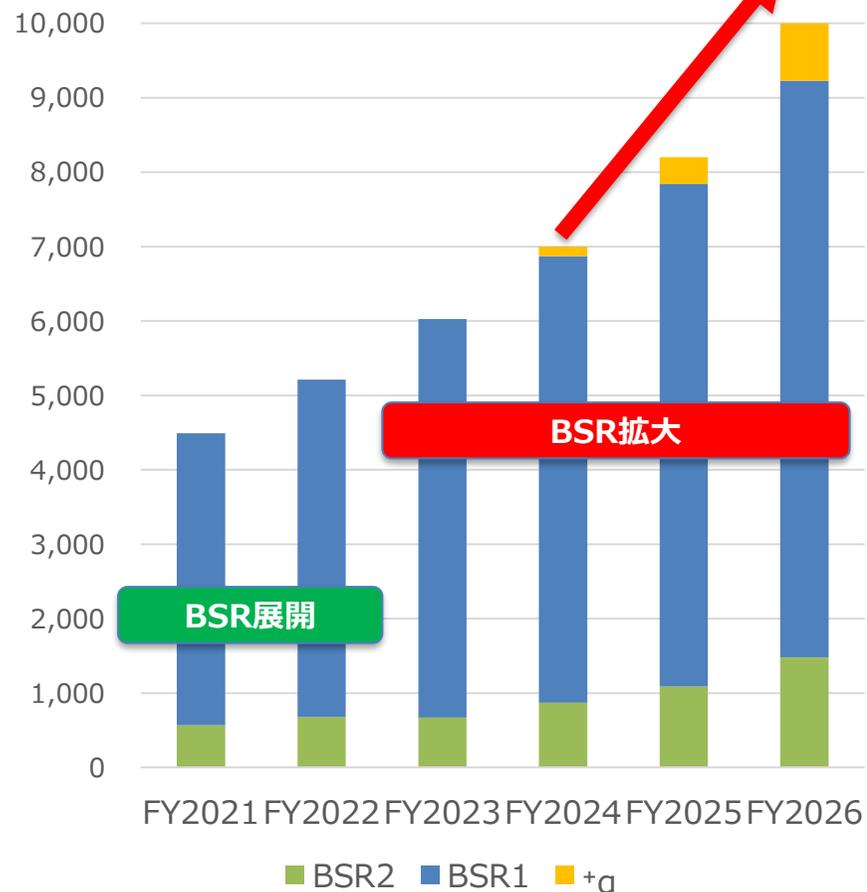
を超える！



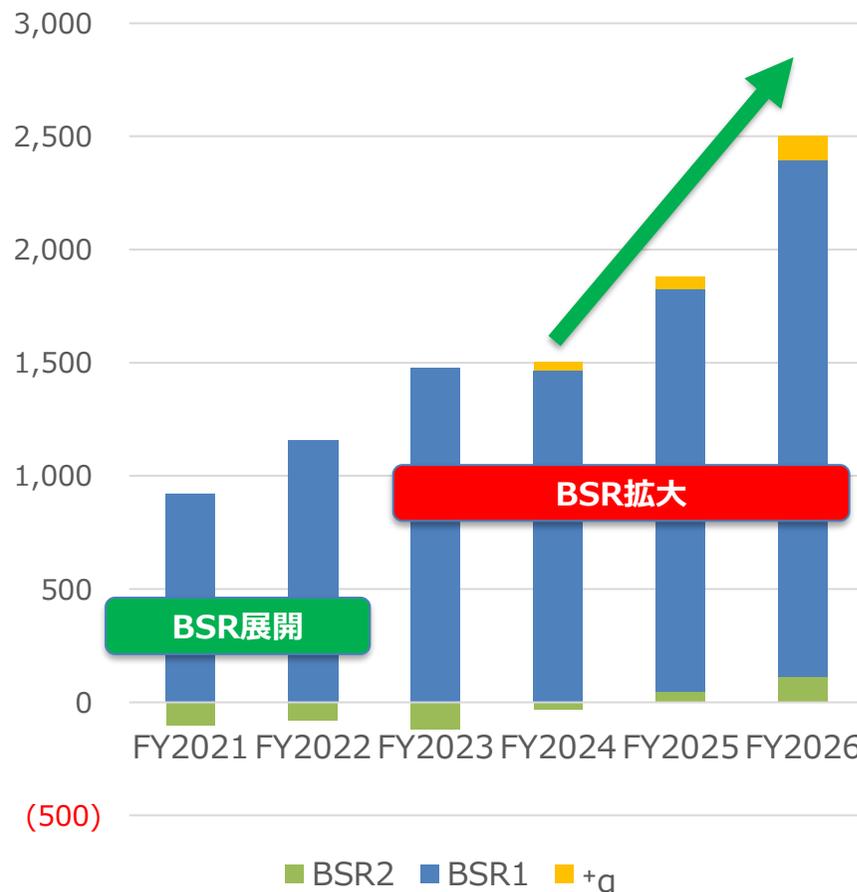
# 売上高と営業利益の目標値を超える

(単位：百万円)

## 売上高



## 営業利益



※ +a : M&Aなどを含む新規ビジネスによるプラス貢献

# 2025年3月期とこれから

2025年3月期の目標値 売上高7,000百万円 営業利益1,470百万円

さらなるストックビジネスの拡大とユーザー数の増大を進める

- ✓ 販売パートナーの強化
- ✓ 製品やサービスのプラットフォーム化

ユーザー数の効率的で、かつ、効果的な増大

- ✓ 開発パートナーの強化

API・SDKなどを介した領域特化の各AI音声認識アミボイスエンジンのユーザー数の増大

- ✓ 各種製品と生成AIとの連携

AI音声認識アミボイスにより機能を向上させたAI対話などの分野を強化

AI音声認識アミボイスの製品やサービス（アミボイスAIパートナー<sup>注</sup>を含む）を業務に利用することで、作業時間の短縮などの仕事の効率化ばかりでなくパートナー（相棒）の存在による仕事の快適化をも可能とし仕事に声を使うことがアタリマエとなる「**仕事における新たな日常**」の社会への浸透を目指す

注) アミボイスAIパートナーとは、声によりスマホのフリック入力を助けてくれるスピーチボード<sup>®</sup>、PCのキーボード操作を助けてくれる声キーボード<sup>®</sup>、PCのマウス操作を助けてくれる声マウス<sup>®</sup>のこと。ユーザー自らも作成可能な音声コマンドを適時、適所で喋ることで効能を発揮させることができる。

# BSR拡大 ~AmiVoice Next~



## Amiボイスがアタリマエとなる「新たな日常」を創る

- 新たなイノベーション（AmiボイスAIパートナーとUPVセールスアシスト※）
- 製品やサービスの目的特化プラットフォーム化（効果的なユーザー獲得）
- パートナーとの連携強化（効率的なユーザー獲得）

- サービスビジネスの市場導入 & 展開  
ACP (AmiVoice Cloud Platform) & ACS (AmiVoice Cloud Service)

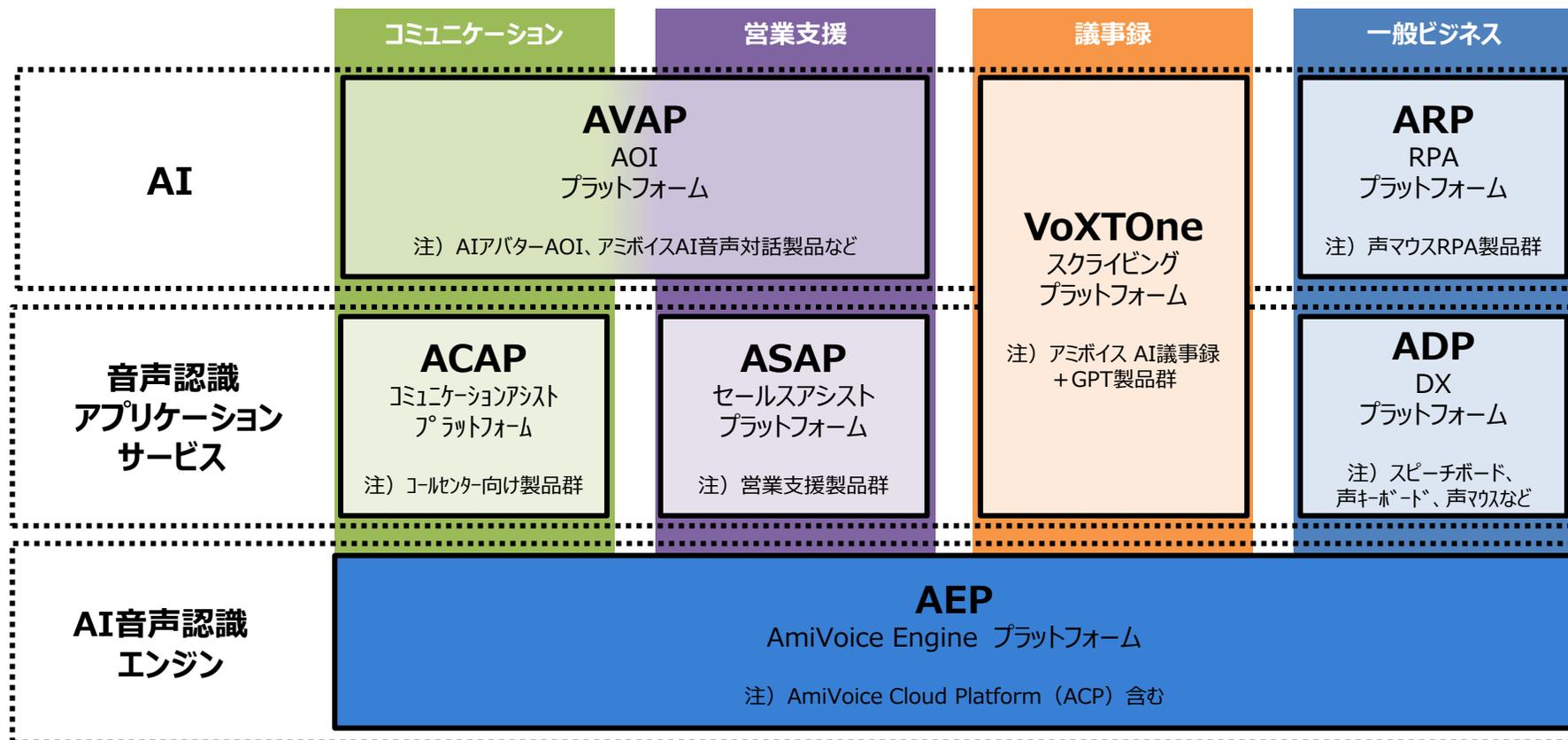
- フロービジネスの拡大  
プロダクト販売 & ソリューションビジネス

※) UPV\*\*セールスアシストとは企業のオウンドメディア・Webサイトに動画を活用した商談獲得機能を付与できるサービス。

※※) UPVとはユーザー選好型表示のこと。(User Preference Viewer)

# プラットフォーム化によるビジネス拡大

## 既存・新規アプリ/サービスの目的特化プラットフォーム化によるビジネス拡大



# 新製品と新サービスの市場導入から展開へ

## 新たなイノベーションによる幅広いビジネスシーンとユーザーへの拡大

アミボイスAIパートナーの特長：

- ① 知識ベース※を有するAIアプリ/サービス
- ② 利用対象のアプリ/サービスに内蔵不要、併存して利用する（アンビエント）
- ③ 適時適所で利用する音声コマンドを個別に作成できる※（パーソナライズ）

リスクリング市場への導入！

### アミボイスAIパートナー

#### UPVセールスアシスト

企業のオウンドメディア・Webサイトに面談獲得機能を付与するサービス

#### 声マウス®・RPA

バッチ型音声プロンプトによる  
自動処理

※声で代替させる入力、クリック、フリックなどの動作や  
その動作時あるいは動作後に必要となることなどを  
登録した知識ベースを有する。

#### 声マウス®・プレゼンアシスト (VMPP)

PC・SNアプリ/サービス

#### 声マウス® (VMX)

PC・SNアプリ/サービス

#### スピーチボード® (SBX)

スマホ・SCアプリ/サービス

#### 声キーボード® (VKX)

PC・SNアプリ/サービス

アミボイス課金 (AB) サーバー (AmiVoice Billing Server) ※サブスクを従量型徴収に変更

アミボイスSCA (ACA) サーバー (AmiVoice Specific Cloud Applications Server)

アミボイスSNA (ANA) サーバー (AmiVoice Specific Native Applications Server)

# 新規ビジネス戦略とM&A戦略

## 新規ビジネス戦略

<アミボイスAIパートナー&UPVセールスアシスト>

- 新たなイノベーションの創出
- 幅広いビジネスシーンとユーザーへの拡大
- 現行ビジネスとの相乗効果による売上拡大

※P32参照

## M&A戦略

### 対象先

①AI領域の拡大 ②ビジネスの拡大

音声・言語  
以外のAI技術

新規ビジネス  
の創出

音声・言語  
関連のAI技術

現行ビジネス  
の拡大

③製品開発力の向上

ソフトウェア  
開発

AI音声認識アミボイス

### 想定規模、回数

売上高：10～20億円

営業利益：黒字もしくは黒字化予定

取得金額：20～40億円

回数：2027年3月期までに2回

※現時点において具体的に決定したM&A案件はない

## 数値計画

※P41参照

	FY2024	FY2025	FY2026
売上貢献	+1.3億円	+3.6億円	+7.7億円

- M&Aの規模や時期
  - M&A後のPMI
  - 新規ビジネスの進展
- によっては、数値計画を上回る可能性があるものの、ミニマムの数値で計画



# 5. リスク情報



Advanced Media, Inc.

# リスク情報

成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクは以下の通りです。その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

項目	発生可能性 ／時期	概要（抜粋）	対応策
音声認識市場開拓における市場展開から市場拡大が遅延すること	中／中長期	音声認識市場開拓を市場展開から市場拡大へと進めていきます。そのために新規ビジネスの導入により現行ビジネスを展開フェーズから拡大フェーズに移行させていきますが、新規ビジネスの導入に想定以上の時間を要し遅延する可能性もあります。	「4. 事業計画」の中期計画・施策を進めるとともに、市場（外部環境）の変化に俊敏に対応してまいります。
業績の変動について	中／常時	音声認識市場開拓の市場展開から市場拡大への遅延、外部環境の変化等、当社が想定できない諸般の要因で、当社の事業が計画どおりに進捗しなかった場合には、想定している経営成績に影響する可能性があります。	「4. 事業計画」の中期計画・施策を進めるとともに、市場（外部環境）の変化に俊敏に対応してまいります。
新製品及び新技術の開発	中／中長期	現在、音声認識の基礎的な開発は終了し、既に様々な商品を販売しておりますが、今後とも技術の革新と向上が必須です。当該開発に資金や時間が想定以上に必要となった場合、当社グループが想定する売上計画が達成できなくなり、先行的に支出された研究開発費等の回収が困難になった場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。	中期計画に対して、適切な研究開発費を設定するとともに、研究開発費の内訳について選択と集中をすることで適切にコントロールしてまいります。

# リスク情報

項目	発生可能性 ／時期	内容（抜粋）	対応策
音声認識技術に代替する新技術の誕生	低／不明	音声認識技術に代わる新しいインターフェース等の誕生、普及により、当社の技術優位性がなくなる等、当社が明確な競争優位性を確保できなくなった場合には、当社グループの経営に影響を与える可能性があります。	音声認識技術に関連する技術動向を、基礎技術部門でフォローし続けるとともに、当社も様々な新技術に対する研究を進めてまいります。
競合他社について	中／不明	現時点では当社の製品は、国内外の競合他社の製品と差別化されると考えておりますが、将来的に高い技術力および開発力を有する競合企業が出現する可能性は否定できず、競争の激化によって当社の優位性が失われた場合、また、競合他社が他の有望な音声認識市場を創造開拓し、当社グループが後塵を拝した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。	音声認識技術に必要な音声や言語のデータの収集をし続けるとともに、技術革新をし続け、競争力の維持をし続けてまいります。 と同時に、他社の技術レベルを常に把握し、部分的に劣っている箇所のキャッチアップを常にしてまいります。

注) 「5. リスク情報」については、当社株式の投資に関する全てのリスクを網羅したものではありません。

- 
- 次回の本資料の開示は、2025年6月を予定しております。
  - 本開示には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

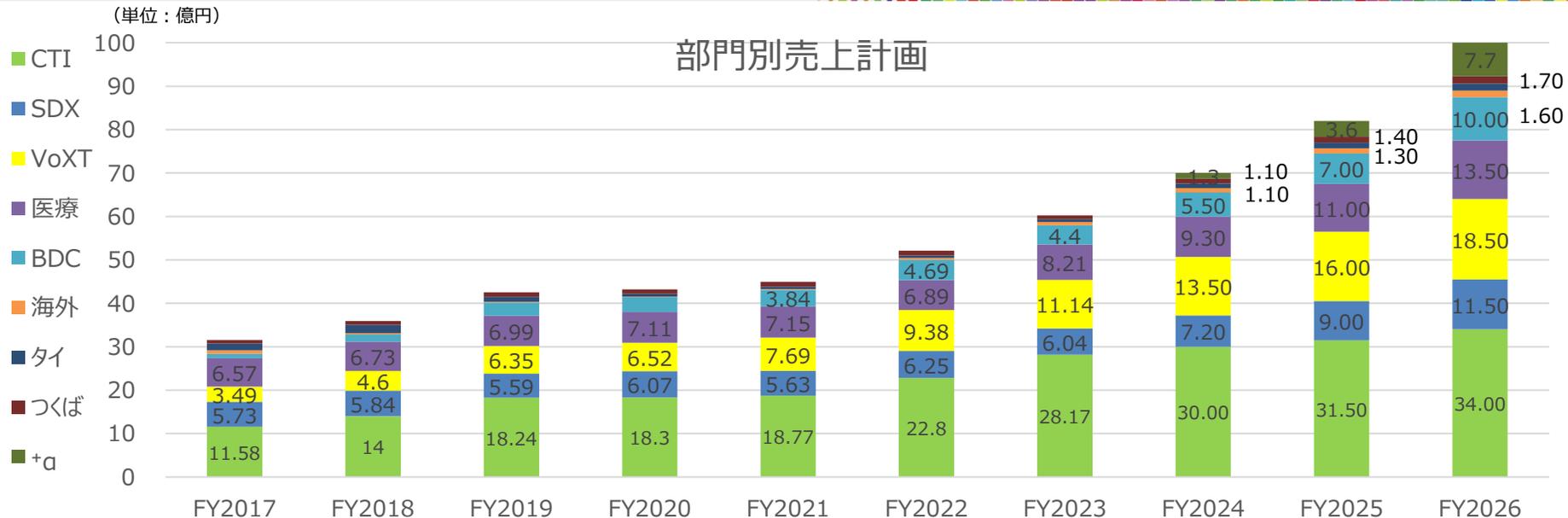


# 参考資料



Advanced Media, Inc.

# 部門別売上計画



		BSR1					BSR2					+a ※	全体計 (連結調整前)
		CTI	SDX	VoXT	医療	小計	BDC	海外	タイ	つくば	小計		
BSR 導入期	FY2017	11.58	5.73	3.49	6.57	27.37	0.96	0.81	1.56	0.82	9.68	-	37.05
	FY2018	14.00	5.84	4.60	6.73	31.17	1.58	0.33	1.92	0.87	11.63	-	42.79
	FY2019	18.24	5.59	6.35	6.99	37.16	2.96	0.19	1.22	0.99	10.94	-	48.10
BSR 展開期	FY2020	18.30	6.07	6.52	7.11	38.00	3.37	0.17	0.67	0.96	6.77	-	44.77
	FY2021	18.77	5.63	7.69	7.15	39.24	3.84	0.20	0.54	1.11	5.69	-	44.93
	FY2022	22.79	6.24	9.38	6.88	45.31	4.69	0.40	0.56	1.16	6.81	-	52.13
BSR 拡大期	FY2023	28.17	6.04	11.14	8.21	53.57	4.40	0.79	0.59	0.91	6.70	-	60.27
	FY2024	30.00	7.20	13.50	9.30	60.00	5.50	1.00	1.10	1.10	8.70	1.30	70.00
	FY2025	31.50	9.00	16.00	11.00	67.50	7.00	1.20	1.30	1.40	10.90	3.60	82.00
	FY2026	34.00	11.50	18.50	13.50	77.50	10.00	1.50	1.60	1.70	14.80	7.70	100.00

※ +a : M&Aなどを含む新規ビジネスによるプラス貢献